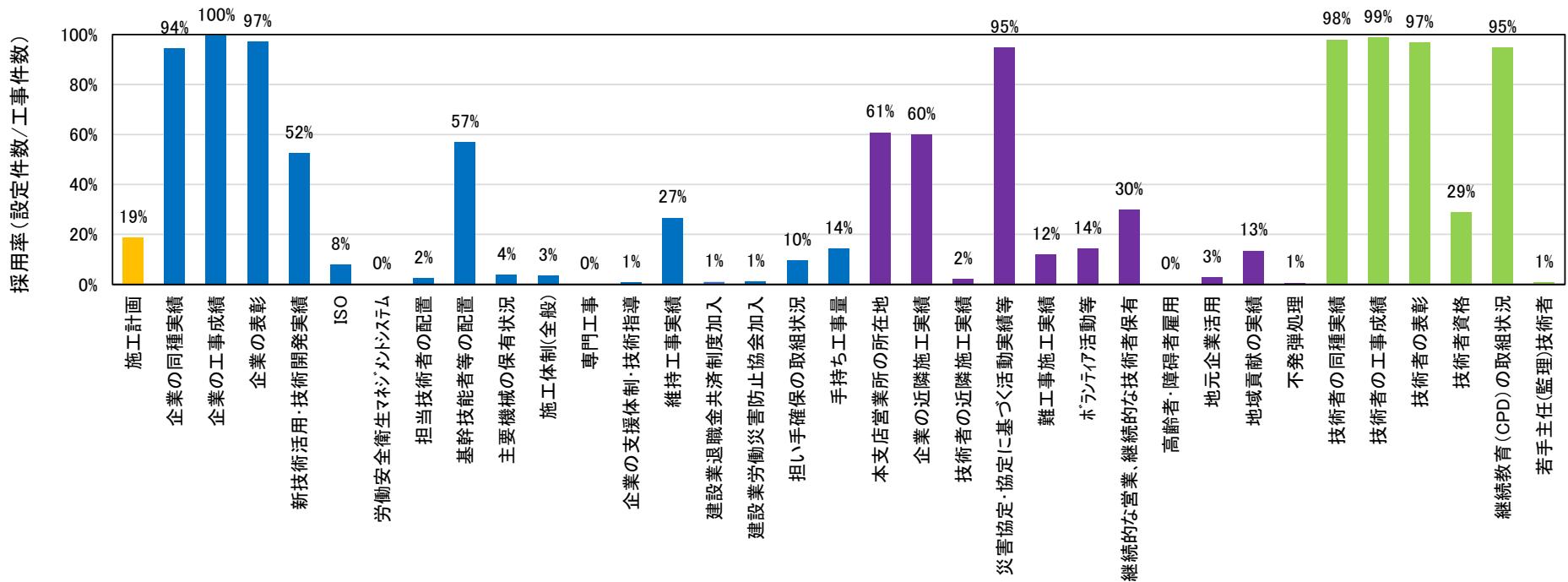


施工能力評価型の実施状況分析

1. 施工能力評価型における評価項目の状況

- 企業の能力等に係る項目では、「同種実績」、「工事成績」、「表彰」、「災害協定・協定に基づく活動実績」が多く設定されている
- 技術者の能力等に係る項目では、「同種実績」、「工事成績」、「表彰」、「CPD」、が多く設定されている

評価項目の採用状況



13,610 件

企業の能力等

地域精通度・貢献度

技術者の能力等

図 評価項目の採用率(H26-28:施工能力評価型 I・II型)

注1) 10地方整備局等(港湾・空港関係工事を除く)が契約した主要4工事種別(一般土木、AS舗装、鋼橋上部、プレストレスト・コンクリート)の工事を対象に整理

2. 施工能力評価型における企業・技術者評価の配点状況

※実績重視型: 大規模補正予算の執行に向けて事務量の軽減を図るために、簡易型総合評価落札方式において施工計画を求めずに実績のみで評価した限定的な試行

- ・平成20年度: 簡易型5,739件のうち490件(8.5%)に適用
- ・平成21年度: 簡易型5,672件のうち2,050件(36.1%)に適用

① 二極化前の配点方針と設定状況

■ 配点方針 [総合評価落札方式の改善に関する取り組み方針(案)について(平成22年3月29日)]

【標準案】

簡易型

簡易な施工計画(5~) 10	施工能力等(15~) 20 (~25)	地域* (5~) 10
----------------	---------------------	-------------

地域*: 地域精通度・貢献度等

合計30~40点

※施工体制確認型でない場合は、30点までとする。

標準II型

技術提案 20 (~30)	施工能力等 20 (~25)	地域* (5~) 10
---------------	----------------	-------------

合計50~60点

※施工体制確認型でない場合は、50点までとする。

標準I型

技術提案その1 (20~) 30	技術提案その2 (20~) 30	施工能力等 20
------------------	------------------	----------

合計60~70点

※施工体制確認型でない場合は、50点までとする。

高度技術提案型

技術提案 50

合計 ~50点

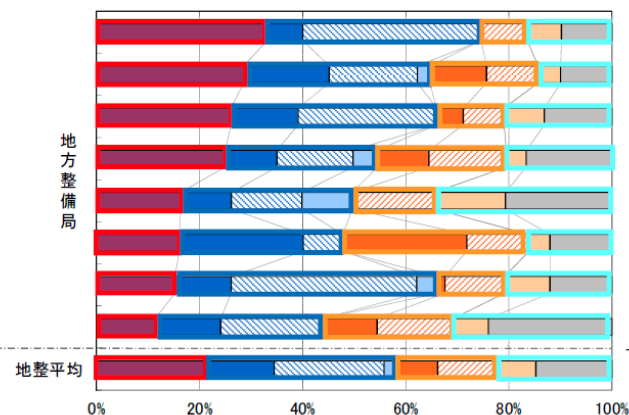
※施工体制確認型の場合は、70点までとする。

二極化前の配点は、企業と技術者の区分による設定なし

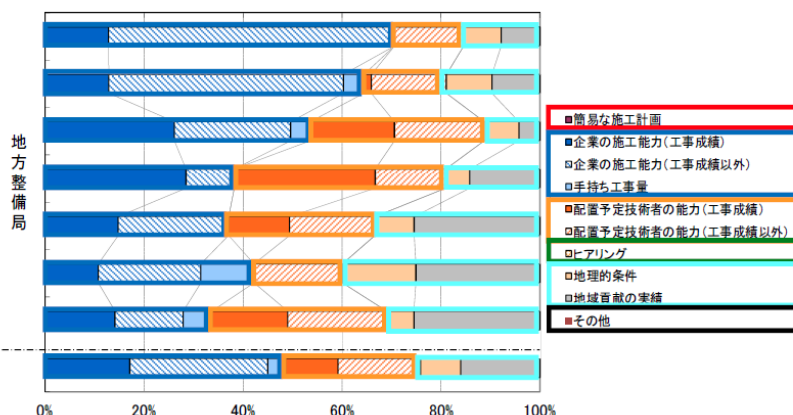
■ 実施結果 [直轄工事における総合評価方式の実施状況(平成22年度 年次報告)]

〔簡易型(実績重視型を除く)〕

〔実績重視型〕



評価項目の内訳(当該評価項目の配点/合計配点)



評価項目の内訳(当該評価項目の配点/合計配点)

- 簡易な施工計画
- 企業の施工能力(工事実績)
- 企業の施工能力(工事実績以外)
- 手持ち工事量
- 配置予定技術者の能力(工事実績)
- 配置予定技術者の能力(工事実績以外)
- ロアリング
- 地理的条件
- 地域貢献の実績
- その他

配点方針での明示はないが、実態としては「企業の能力」が「技術者の能力」よりも配点が高く設定されていた

二極化後は技術者配点を拡大し、企業配点と同等に設定

注1) 8地方整備局(港湾・空港関係工事を除く)が契約した主要4工事種別の工事を対象に整理

2. 施工能力評価型における企業・技術者評価の配点状況

総合評価方式の活用・改善等による品質確保に関する懇談会
(平成26年11月27日)資料

②-1 二極化後の配点方針と設定状況

- ・技術評価点の加算点の評価項目は、①技術提案、②企業の能力等、③技術者の能力等とし、加算点合計及びその内訳は、「配点割合」の通りとする。
- ・このうち、②企業の能力等と③技術者の能力等の配点割合は同じとする。
- ・地域精通度・貢献度等については、②企業の能力等の中で評価し、配点は10点を上限とする。

<配点割合>

施工能力評価型

総合評価対象 40(30)		
段階選抜対象 40(30)		
施工計画※	企業の能力等※ 20(15)	技術者の能力等 20(15)

※ 施工計画は、可か不可のみを評価する。

※ 施工体制確認型でない場合は、()内の点数とする。

※ 「地域精通度・貢献度等」の評価は「企業の能力等」の中で必要に応じて設定する。

技術提案 評価型(S型)

総合評価対象60(50)		
段階選抜対象 30(20/30)		
技術提案※ 30(20/30)	企業の能力等※ 15(10/15)	技術者の能力等 15(10/15)

※ 施工体制確認型でない場合は、()内の点数とする。

※ 「地域精通度・貢献度等」の評価は「企業の能力等」の中で必要に応じて設定する。(WTO対象の場合設定しない。)

※ WTO対象の場合、企業の能力等及び技術者の能力等は段階選抜での評価のみに利用し、総合評価では評価しない。なお、WTOの配点は別途設定する。

技術提案 評価型(A型)

総合評価対象70(50)		段階選抜対象 40/60	
技術提案 70(50)	簡易な技術提案※ 20	企業の能力等 20	技術者の能力等 20

※ 簡易な技術提案は段階選抜で必要に応じて評価

※ 施工体制確認型でない場合は、()内の点数とする。

2. 施工能力評価型における企業・技術者評価の配点状況

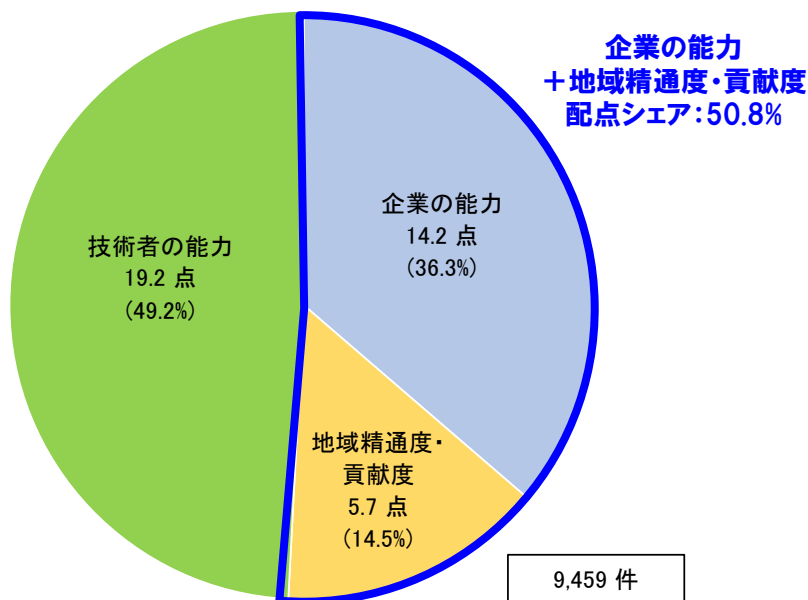
②-2 二極化後の配点方針と設定状況

- 施工計画を評価しない工事における加算点の配点シェアは、「企業の能力等＋地域精通度・貢献度」と「技術者の能力等」が概ね同等に設定されている。

施工計画を加点評価しない工事

* 加算点内訳は、各評価項目に係る素点の配点割合(素点配点/素点合計)に加算点の満点を乗じて算出した値の項目別の平均値

施工能力評価型(H26-28)の
加算点満点の平均: 39.0点



<参考> 施工計画を加点評価する工事

施工能力評価型(H26-28)の
加算点満点の平均: 43.3点

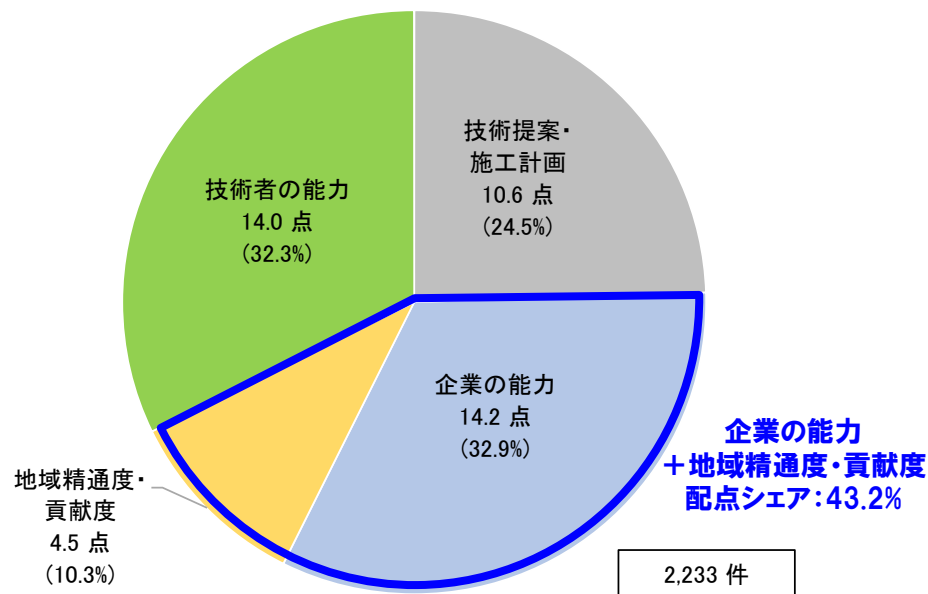


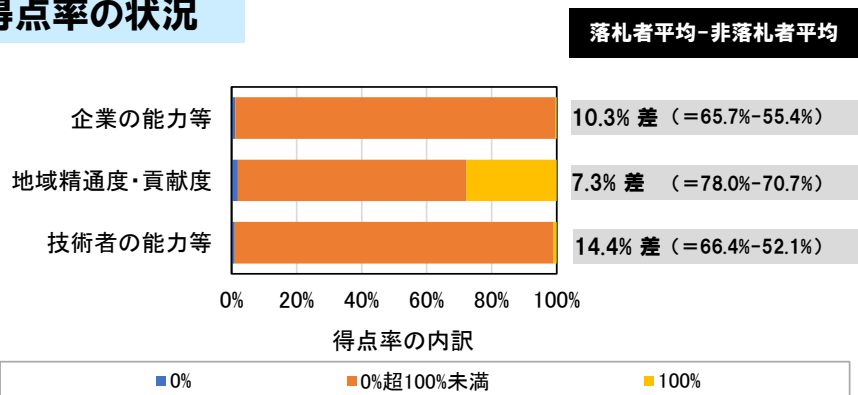
図 加算点配点の内訳(H26-28:施工能力評価型 I・II型)

3. 施工能力評価型における企業・技術者評価の得点状況

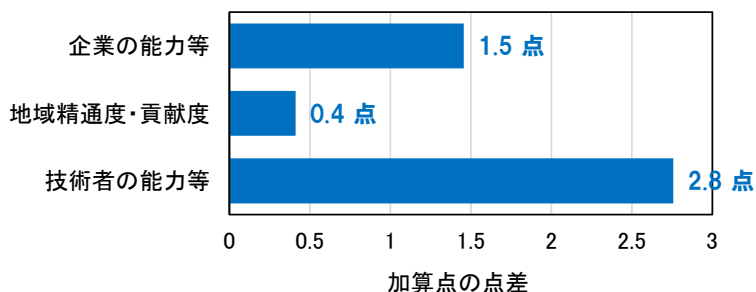
○ 「技術者の能力等」は、「企業の能力等」や「地域精通度・貢献度」に比べ、落札者と非落札者の得点率に差が付き易く、かつ前述のとおり配点割合が高いことから、加算点差が付き易くなっている

施工計画を加点評価しない工事 (N:9,459件)

得点率の状況

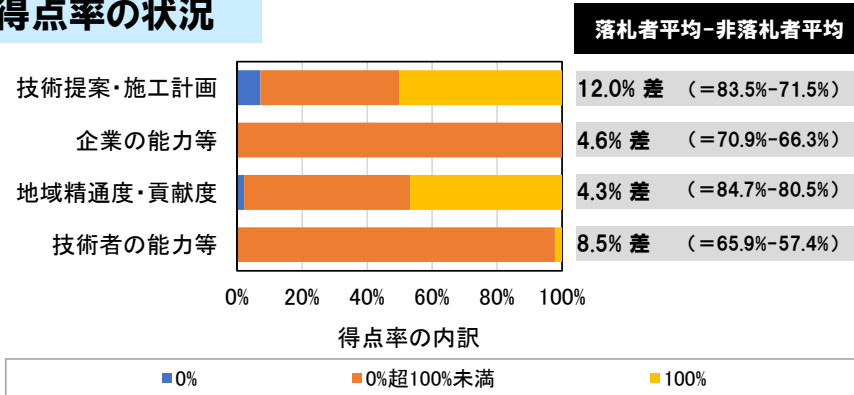


加算点差の内訳



<参考> 施工計画を加点評価する工事 (N:2,233件)

得点率の状況



加算点差の内訳

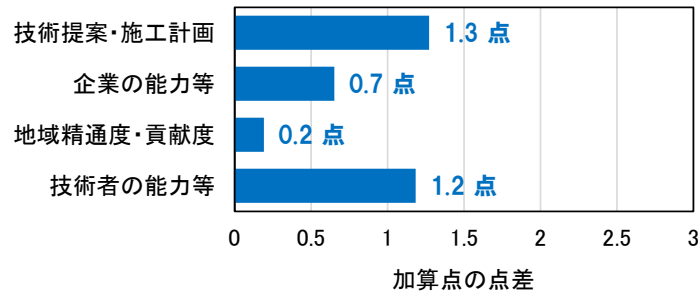
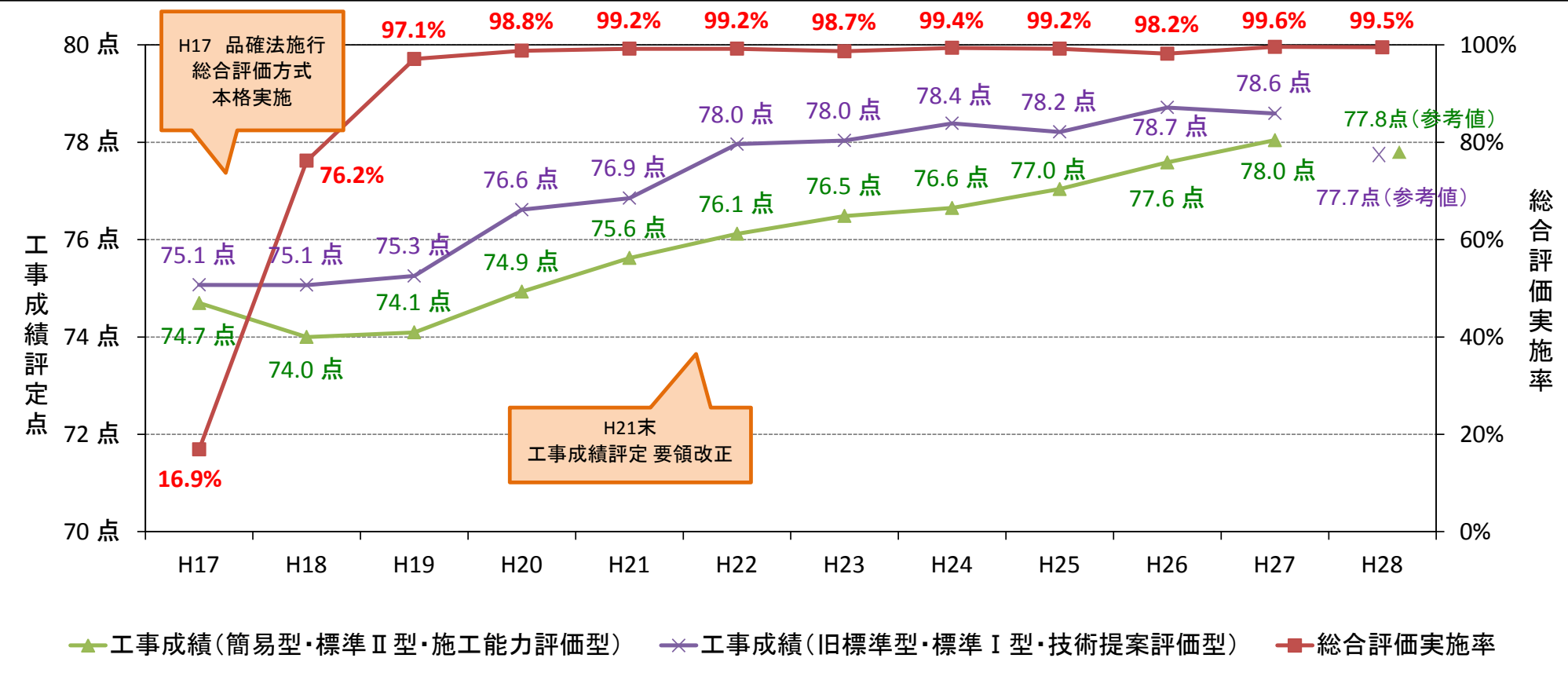


図 加算点配点の内訳(H26-28: 施工能力評価型 I・II型)

注1) 採用率が90%以上の8項目を全て設定している11,692件の工事を対象に整理

4. 施工能力評価型における企業・技術者評価と成績の関係

○ 工事成績については上昇傾向であり、品質の向上が図られている。

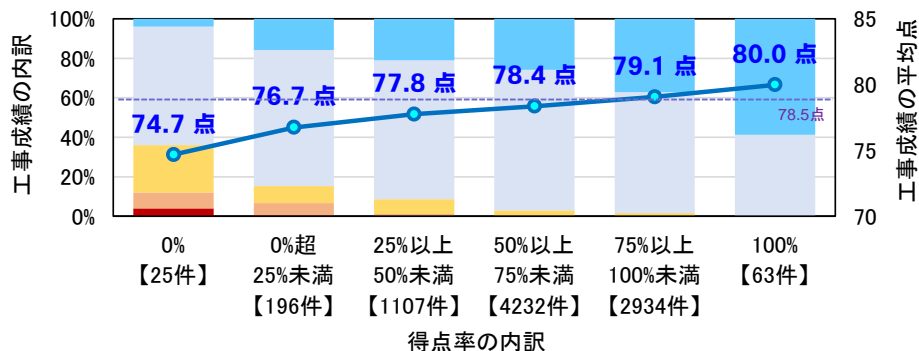


注1) 8地方整備局(港湾・空港関係工事を除く)が契約した全ての工事種別の工事を対象に整理
 注2) 対象工事は、契約年度別で整理

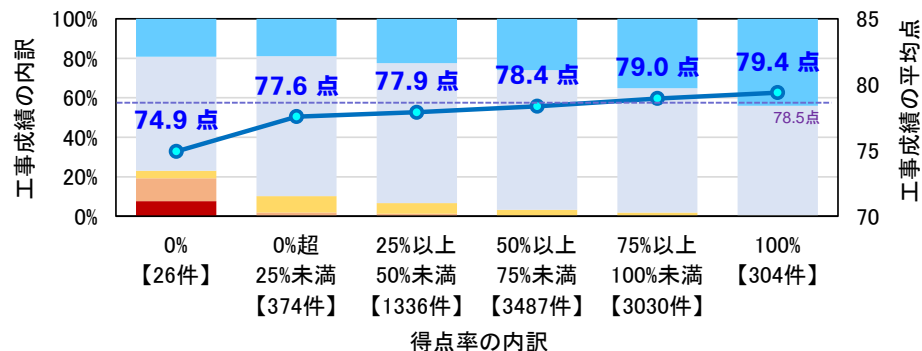
4. 施工能力評価型における企業・技術者評価と成績の関係

- 「企業の能力等」、「技術者の能力等」いずれも入札時の得点率が高いの方が、完成時の工事成績評価が高く、工事品質の確保に同等に寄与している
- 地域精通度・貢献度についても得点率が高いの方が、80点以上の工事が多いなど品質の確保に寄与。

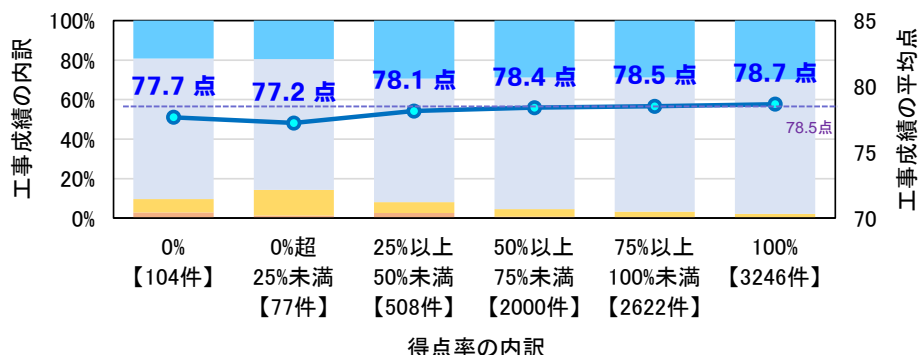
企業の能力等(N:8,557件)



技術者の能力等(N:8,557件)



地域精通度・貢献度(N:8,557件)



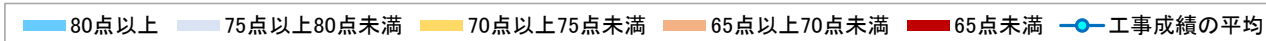
※採用率が90%以上の8項目を全て設定している11,692件のうち、工事成績が評価済みの8,557件の工事を対象に整理

■ 65点未満 ■ 65点以上70点未満 ■ 70点以上75点未満
■ 75点以上80点未満 ■ 80点以上 ● 工事成績の平均

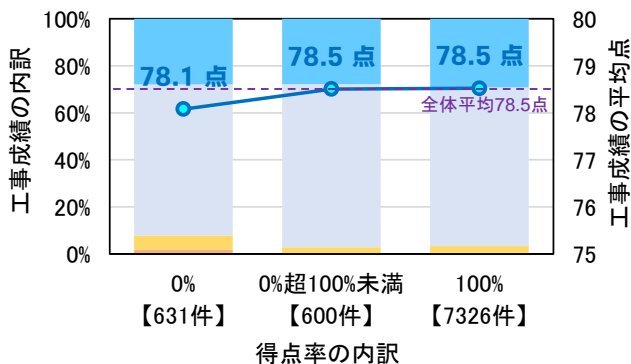
5. 入札時の評価結果と完成時の工事成績の状況①

- 「企業の成績」と「企業の表彰」は、入札時の得点率が高いほど完成時の工事成績が高まる傾向が見られる
- 「企業の実績」は、入札時の得点率と完成時の工事成績に明確な関係性は見受けられない

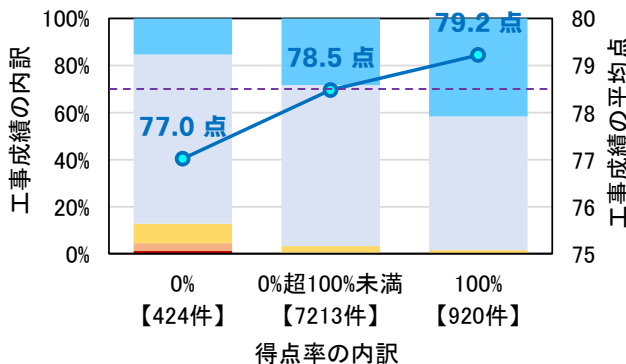
① 得点率と工事成績の関係



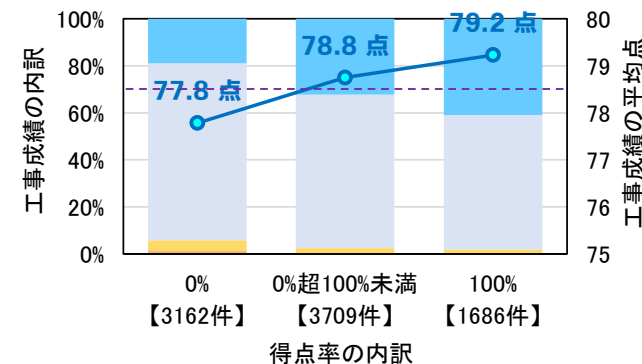
企業の実績



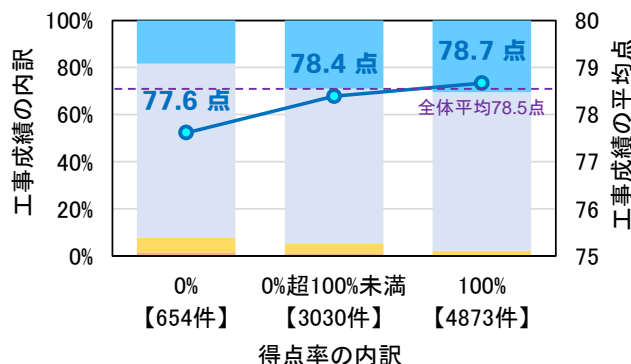
企業の成績



企業の表彰



災害協定等



<得点率と工事成績の傾向により評価項目タイトルの着色を分類>

- ...得点率が高いほど完成時の工事成績が高まる傾向がある項目
※得点率が高いほど、成績が80点以上の件数が増え、平均点も上昇
- ...得点率の有り(0%超)と無し(0%)で完成時の工事成績に差異が見られる項目
- ...得点率が完成時の工事成績に与える影響が見受けられない項目
※得点率の高低による成績80点以上の件数や平均点に与える影響は見られない

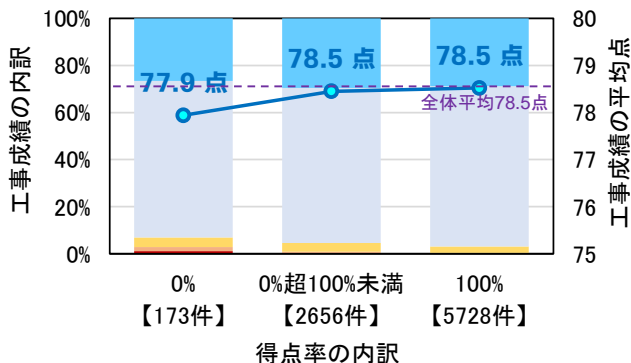
図 各評価項目の得点率と工事成績の関係(H26-28: 施工能力評価型 I・II型)(1/2)

※採用率が90%以上の8項目を全て設定している11,612件のうち、工事成績が評定済みの8,557件の工事を対象に整理

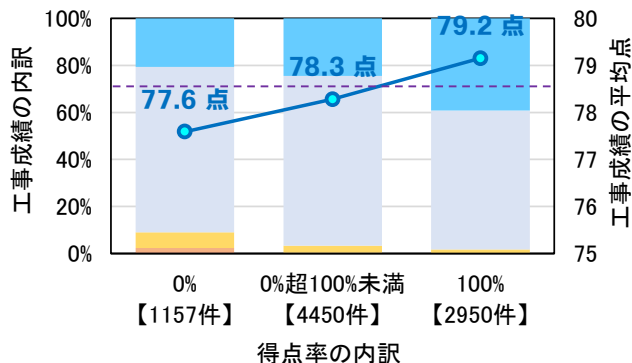
5. 入札時の評価結果と完成時の工事成績の状況②

- 「技術者の成績」は、入札時の得点率が高いほど完成時の工事成績が高まる傾向が見られる
- 「技術者の表彰」、「CPD」は、入札時に加点の無い企業が落札した場合に、加点のある企業に比べて完成時の工事成績が低い傾向にある

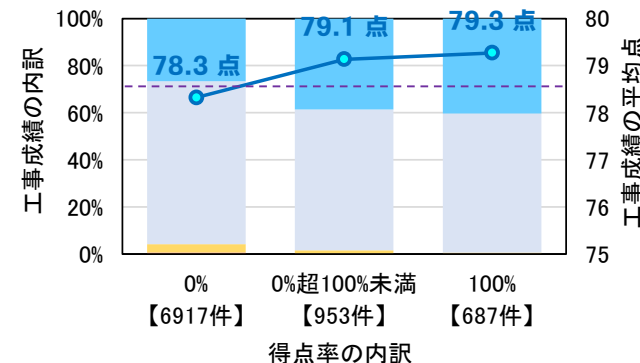
技術者の実績



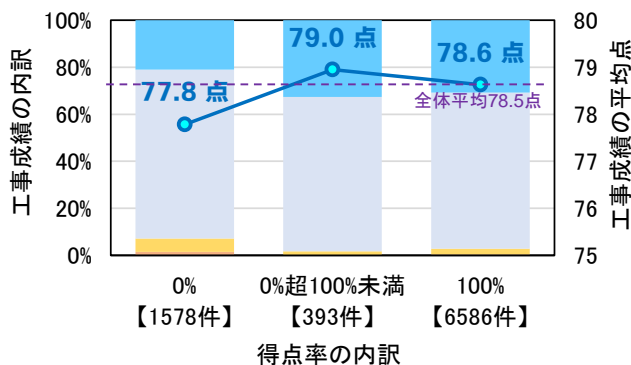
技術者の成績



技術者の表彰



CPD



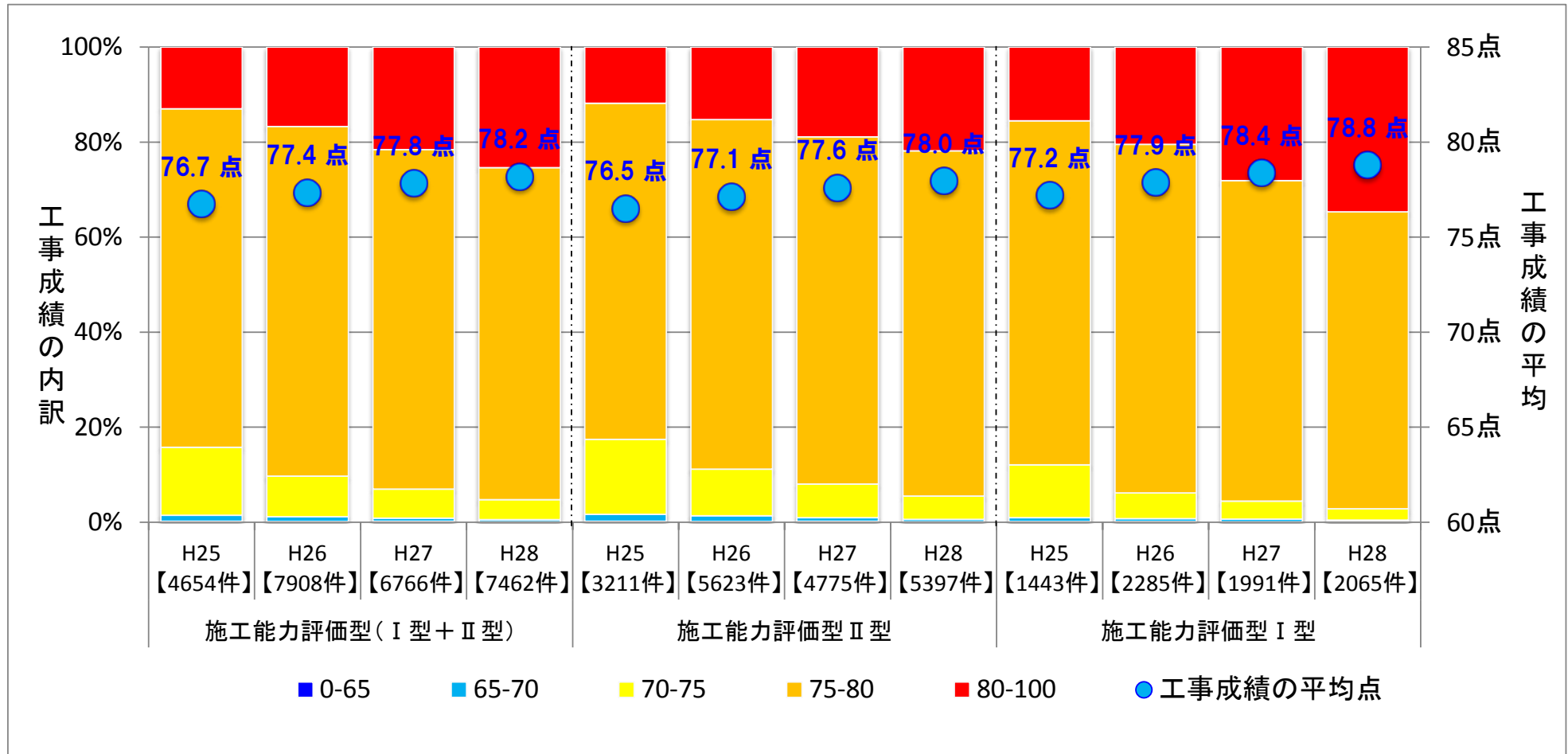
■ 80点以上
 ■ 75点以上80点未満
 ■ 70点以上75点未満
 ■ 65点以上70点未満
 ■ 65点未満
 ● 工事成績の平均

図 各評価項目の得点率と工事成績の関係(H26-28:施工能力評価型 I・II型)(2/2)

※採用率が90%以上の8項目を全て設定している11,612件のうち、工事成績が評定済みの8,557件の工事を対象に整理

6. 施工能力評価型適用工事の工事成績

■ 施工能力評価型は、I型・II型ともに経年で工事成績が高まっている。



注1) 10地方整備局等の各年度の完成工事を対象 (港湾・空港関係工事を除く)
 注2) 注1)に該当する工事のうち、工事成績データと契約データのマッチングができたものを対象